

## ■事績

松山東雲高校入学と同時になぎなたを始め、全国高校選手権や国体などで活躍。大阪体育大学に進学後も全日本学生選手権で優勝し、社会人でも平成8年に全日本選手権で初優勝を果たした。全日本選手権では個人最多となる7回の優勝をあげ、平成23年の世界選手権でも2回目の優勝を飾った。持ち前の粘り強さと洗練された動きで相手を圧倒し、結果に甘んじない固い意志で不動の強さを保っている。

異種目にも熱心に取り組み、大学卒業後、体力づくりを目的にボクシングを始め、現在、松山ボクシングクラブのコーチとして後輩の指導にあたっている。また、平成22年には中学時代の恩師から日本ラグビー女子選手候補のトライアウトに挑戦することを勧められ参加。最年長ながら抜群の身体能力や果敢なタックルなどが評価され、四国で唯一、選考保留選手に選ばれ、合同合宿に参加した。

現役トップアスリートとして努力を惜しまない姿勢は結婚、出産を経た今も変わらず、学校教育の場も通じて発信し続けるチャレンジ精神は、多くの女性の目標となっている。

## ■主な戦績

- ・全国高等学校なぎなた選手権大会 団体の部準優勝（昭和63年）
- ・国民体育大会なぎなた少年女子 団体の部準優勝（平成元年）
- ・全日本学生なぎなた選手権大会 個人の部優勝（平成4、5年）
- ・皇后盃全日本なぎなた選手権大会 個人の部優勝  
（平成8、10、11、14、15、17、21年）
- ・世界なぎなた選手権大会 個人の部優勝（平成11、23年）